

2025年度 地域包括支援センター社会福祉士 実務研修

認知症・権利擁護等事例検討会 開催要項

1. 研修の狙い

令和6年に「認知症基本法」が制定されこれから増加する認知症患者への対応等について共生社会へ向けた動きが進められております。今回大分県の若年性認知症コーディネーターより大分県の若年性認知症の状況等今後に向けた認知症の方への支援について講和をいただき、独居・高齢者世帯増加もあり認知症の方をどの様に対応していくべきかを皆さんで事例を通じGW等で深めていただきより良い支援へと繋げていくために

本会では、実際の事例報告や情報・意見交換を通じ、課題について共有・考察した上で言語（可視）化し、支援者の資質向上を図る事を目的に本研修会を開催致します。

2. 開催期日・場所

○ 2025年10月18日（土）10：00～16：00（受付は9時30分～）

○ Zoomによる遠隔聴講

3. 主催 公益社団法人 大分県社会福祉士会 （地域包括支援委員会）

4. 定員・対象

○ 30名程度 ※定員を超えた場合、本会会員を優先させていただきます。

○ 包括職員（生活支援コーディネーターや認知症初期集中チーム等を含む）、行政職員、社会福祉協議会職員、介護支援専門員、介護保険等事業所職員等々の「地域包括ケア」に携わる皆様

5. 受講費（資料代含む）

※非会員とは、社会福祉士で当会に未入会の方です。社会福祉士以外の他資格の方は一般となります。

○ 会員・一般； 1,000円

○ 非会員；2,000円

6. プログラム

時 間	内 容 ・ 講 師
9:30~	受け付け
10:00	オリエンテーション、開会挨拶（地域包括支援委員会 担当理事）
10:10 ~11:40	講義「大分県の若年性認知症の方への対応について」新しい認知症観も含む 講 師：医療法人明和会 佐藤病院 若年性コーディネーター 秦 美穂氏
11:40~	< 休憩 >
13:00 ~16:00	事例検討、グループ討議（意見・情報交換）、纏めの講義 事例報告「不衛生な環境で生活している認知症独居の女性への支援」 報告者・講師 梶原 貴久（地域包括支援委員会 担当理事） ファシリテーター 地域包括委員会 委員 閉会挨拶、アンケート入力

※プログラムは予定です。時間・内容は変更する事があります。

7. 申し込み方法（締切日：10月10日）

○ 大分県社会福祉士会ホームページの電子申請システムにてお申し込み下さい。

→ <https://oita-csw.or.jp/>

※入力した氏名や生年月日が受講証に転記されますので、ご注意ください！

○ 申し込み受付期間：9月24日（水）～ 10月10日（木）

※10月16日（木）までに Zoom 参加のURLとパスワードをメールにて送付致します。
メールが届かない場合は下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

8. 研修種別・単位数

○ 全てのプログラムを当会規定の遅刻や早退無く聴講された方には、受講証を発行します。全てのプログラムを修了する事で、「生涯研修制度独自の研修3時間」となります。

<お問い合わせ・お申し込み先>

公社）大分県社会福祉士会 事務局

〒870-0907 大分県大分市大津町2丁目1番地41号 大分県総合社会福祉会館2階

電話・FAX:097-576-7071

E-mail: oita-jacsw@axel.ocn.ne.jp